

まじえる 交

人と
アートと
建築と

2025/11/22 Sat. 13:30-

和歌山県立近代美術館と J I A のコラボレーションが実現。

会場 / 和歌山県立近代美術館 和歌山市吹上 1-4-14

ARCHITECTS' DAY 2025 IN WAKAYAMA

公益社団法人日本建築家協会近畿支部大会
協力 / 和歌山県立近代美術館



和歌山県立近代美術館と JIA 和歌山のコラボレーションが実現。

まじえる 交

人と
アートと
建築と

1994 年竣工、黒川紀章建築都市設計事務所が手がけた和歌山県立近代美術館。
魅力ある展覧会の開催、調査研究の充実だけでなく、活発な地域連携や学術交流
の推進を美術館の使命として掲げておられます。2025 年、JIA 近畿支部大会
「ARCHITECTS' DAY」を開催するにあたり、JIA 和歌山は和歌山県立近代美術館に
協力を依頼。地域団体と連携した新しい大会に挑戦します。これからの JIA,
これからの建築家のあり方をともに考えましょう。



和歌山県立近代美術館
THE MUSEUM OF MODERN ART, WAKAYAMA

1. エクスカーション 1, 2

2. 開会宣言 13:30 ~

3. 第 15 回関西建築家新人賞紹介
受賞者ショートレクチャー：新森雄大
/Niimori Jamison 「pedestals」

4. シンポジウム 14:30 ~ 17:00
「再発見される建築の愉しみ方—和歌山県立近代美術館の 31 年—」
＜登壇者＞

保坂健二郎／滋賀県立美術館ディレクター（館長）
吉田行雄／建築・デザインネットワーク 代表
倉方俊輔／建築史家・大阪公立大学教授
井上芳子／和歌山県立近代美術館 学芸課長
中西重裕／JIA 近畿支部和歌山地域会 正会員

5. レセプションパーティー 17:30 ~ 19:30
和歌山城天守閣を臨む美術館内のカフェレストラン「BRING BOOK STORE」。
開催時期は和歌山城公園が美しく紅葉していることでしょう。
和歌山ならではの料理と飲み物を準備して、ご参加お待ちしております。

2025
11/22
Sat.

ARCHITECTS' DAY
in WAKAYAMA

公益社団法人日本建築家協会近畿支部大会



PROFILE

－ シンポジウム「再発見される建築の愉しみ方－和歌山県立近代美術館の31年－」登壇者－



保坂健二郎 / 滋賀県立美術館ディレクター（館長）

1976年 茨城県生まれ。

2000年 慶應義塾大学大学院修士課程修了。

2000～2020年 東京国立近代美術館に勤務。

同館にて企画した主な展覧会に「建築がうまれるとき：ペーター・メルクリと青木淳」（2008）、
「フランス・ペーコン展」（2013）、「声ノマ 全身詩人、吉増剛造展」（2016）、
「日本の家 1945年以降の建築と暮らし」（2017）、「隈研吾展 新しい公共性をつくるためのネコの5原則」（2021）など。
2021年～ 現職。

文化庁「文化審議会文化政策部会」臨時委員、公益財団法人大林財団「都市のヴィジョン」推薦選考委員、
毎日デザイン賞選考委員、独立行政法人国立美術館運営委員なども務める。



吉田行雄 / 建築・デザインネットワーク 代表

1985年 （株）黒川紀章建築都市設計事務所（KKA）入所

2004年 同上退職（退職時：設計部長）、（有）建築・デザインネットワーク（DNA）設立

KKA在職時には「和歌山県立近代美術館、博物館」の他、「奈良市写真美術館」「吉備町吉備ドーム」

「大分メインスタジアム」「豊田スタジアム」「日本赤十字社九州国際看護大学」

「メニコンテクノステーション」「日本看護協会原宿会館」「LOTTE WORLD」他を担当

2005年～2022年 国土館大学理工学部建築学系及び同大学院工学研究科 非常勤講師



倉方俊輔 / 建築史家・大阪公立大学教授

1971年生まれ。

「東京建築祭」では実行委員長を、「イケフェス大阪」や「京都モダン建築祭」では実行委員を務める。

主な著書に『吉阪隆正とル・コルビュジエ』（王国社、2005）、『ドコノモン』（日経BP社、2011）、

『はじめての建築01 大阪市中央公会堂』（生きた建築ミュージアム大阪実行委員会、2021）、

『京都 近現代建築ものがたり』（平凡社新書、2021）、

『東京モダン建築さんぽ 増補改訂版』（写真＝下村しのぶ、エクスナレッジ、2024）ほか。



井上芳子 / 和歌山県立近代美術館 学芸課長

1967年 和歌山生まれ。

岡山大学を卒業後、1991年、建設工事が始まったばかりの和歌山県立近代美術館に学芸員として就職。

専門は日本近代の創作版画、特に大正初期の田中恭吉と月映（つくはえ）。

共編として『田中恭吉 ひそめるもの』（2012年、制作：コギト、発行：玲風書房）など。



中西重裕 / JIA 近畿支部和歌山地域会 正会員

1958年 和歌山市生まれ。

1981～1989年 伊藤喜三郎建築研究所。1989年独立。

2007年 K&Nアーキテクトを設立。

2012年～ 和歌山市景観アドバイザー

2012年～ （一社）和歌山県建築士会 副会長

著書「わかやまワクワク探検隊」2002

－ 第15回関西建築家新人賞受賞者－



新森雄大 / Niimori Jamison 「pedestals」

1986年徳島県生まれ。

滋賀県立大学大学院人間文化科学研究科、スイス・イタリア大学大学院メンドリジオ建築アカデミー修了後、

2018年 Niimori Jamison を共同設立。

京都芸術大学非常勤講師（2022-）京都市立芸術大学非常勤講師（2023-）名古屋造形大学特任准教授（2025-）

2022年 日本国際博覧会 休憩所他設計業務 公募型プロポーザル 優秀提案者（休憩所受託）

2024年 City of Ballarat Continuous Voices Memorial Shortlist

2025
11/22
Sat.

ARCHITECTS' DAY
in WAKAYAMA

公益社団法人日本建築家協会近畿支部大会



エクスカージョン 1

「和歌山県立近代美術館・博物館建築ツアー」

建設当時、黒川紀章建築都市設計事務所設計監理を担当された吉田行雄氏に
設計思想や当時のエピソードを交えながらご案内いただきます。

バックヤードの一部も見学いただけます。

10:20 美術館玄関前アプローチプラザ集合

10:30 ~ 12:00 見学

定員 20 名

<案内人>

吉田行雄／建築・デザインネットワーク 代表

※詳細はプロフィール欄参照



エクスカージョン 2

「Re[]SHIMIZU-URA PROJECT 見学」

海辺の集落、冷水浦。プロジェクトへの参加者は、空き家の

多いこの地で「住みながらつくる」を実践しています。

つくり手のひとりである大工の伊藤さんの案内によるまち歩きと

カフェ「チャイとコーヒーとクラフトビール」での座談会を行います。

10:10 冷水浦駅集合（10:10 着の電車あり）

11:45 現地解散（11:53 冷水浦駅発、12:11 和歌山駅着の電車あり）

定員 20 名

<案内人>

伊藤智寿／（株）いとうともひさ

1985 年大阪生まれ。

神戸芸術工科大学環境デザイン学科卒業後、大工修行を経て、独立。

全国各地を転々としながら旅先の現場に仮の住まいを作り、

完成させてはまた移動するスタイルを続ける。

空き家との出会いから冷水浦にたどりつき、またここでも仮の住まいを
つくりながら工事することとなる。



和歌山県立近代美術館
THE MUSEUM OF MODERN ART, WAKAYAMA



Instagram

Re SHIMIZU-URA PROJECT

